

第9回日展

第2科（洋画） 審査所感

審査主任 佐藤 哲

第9回日展は、コロナ禍が続く中、審査員は前向きに真剣にとりくんでいます。

今年は、搬入数がまた少し減りましたがコロナも少し落ち着いてきました。しかし、他者と関わる機会が減り、研究不足が歴然とわかる作品が多くコロナ前の形の大切さが思い出されます。

ことに作品のレベルを維持するために今年は厳選になりました。中でも特選作品には特に神経を配ったつもりです。出品者の皆様はとにかくさらに研究を重ね実力をつけて欲しいです。

特選作品については、非常に厳しく丁寧に見ました。選ばれた10点の作品の中には、新しい傾向の作品も、伝統的な傾向の作品も見られました。

外部審査員の菅章先生と八重樫春樹先生には日展の現状をよく理解して下さり御協力いただきまして感謝しております。

搬入数 1,575 点
入選数 547 点
(内新入選) 58 点